

暮らしの情報

9月1日～



広報とばに掲載された
写真を差し上げます。
ご希望のかたは、総務
課広報情報係まで。

お知らせ

9月1日は「防災の日」

総務課防災対策室
☎1118

9月1日(水)の「防災の日」を含む
8月30日(月)～9月5日(日)の一週間
は、「防災週間」です。

台風や高潮、津波、地震などの災
害はいつやってくるかわかりません。
災害についての知識を深め、日ごろ
から備えておくことが大切です。

非常持ち出し品のチェックや、家
具転倒防止器具にゆるみやずれがな
いか見直しをしましょう。

また、いざというときに困らない
よう、家族みんなで災害時の役割分
担を決めたり、避難場所の確認をす
るなど、各家庭で防災対策について
話し合います。

非常持ち出し品リスト

【貴重品】 現金・預貯金通帳・印鑑・
保険証のコピーなど

【非常食】 飲料水・レトルト食品・
缶詰・紙皿・紙コップ・割り箸・缶
きり・栓抜きなど

【生活用品】 救急セット・常備薬・
生理用品・衣類・タオル・ライター・
マッチ・ろうそく・雨具・マスク・
使い捨てカイロなど

【その他】 ヘルメット・軍手・笛・
ロープ・懐中電灯・携帯ラジオ・予
備の乾電池・筆記用具など
ポイント

非常持ち出し品は、避難時に最初
に持ち出すものです。男性15kg、女
性10kgまでが目安です。また、これ
とは別に3日分の食料や水などの備
蓄品を準備しておくことも大切です。
なお、これらはあくまでも一例で
すので、家族構成を考慮して必要な
ものを備えておきましょう。

9月6日は「救急の日」

消防署
☎2821

9月5日(日)～9月11日(土)は「救急
医療週間」です。

昨年、市の救急車が医療機関に搬
送したかたは1101人で、その内、
診療の結果、軽症と診断されたかた
は607人で、全体の55パーセント
もありました。

真に救急車を必要としているかた
がたのために、救急車の適正利用に
ご協力ください。

また、救急車が到着するまでの間
に、適切な応急手当やAEDの使用
を行えるか否かで、傷病者の生死に
大きな影響を与えるので、突然の事
故から尊い生命を救えるよう応急手
当の知識や技術を身に付け、いざと
いう時のため、各町内・自治会や施
設にAEDが設置されておりますの
で、普段から設置場所を確認してい
たとき、いつでも使用できるように
しましょう。

2月までの毎月18日に消防署で普
通救命講習、3月18日(金)に上級救命
講習を開催しています。

申込先 消防署

胃がん検診(バリウム)

健康福祉課健康係
☎1185

対象 鳥羽市に住民票があり、昭和
46年4月1日までに生まれたかた

検診料 800円(70歳以上無料)

申込方法 健康福祉課健康係へ電話
で予約してください。定員になり次
第締め切ります。

注意 検診前日、夜9時以降の飲食
はしないでください。当日も飲食し
ないでください。

市内医療機関で胃がん検診(胃力
メウ)を実施中ですが、胃がん検診

は、1年間に1度しか受けられませ
んので、どちらかを選んで受診して
ください。
※健康手帳をお持ちください。お持
ちでないかたは当日発行します。

胃がん(バリウム)検診日程表

とき	受付時間	ところ
9月21日(火)	8:00～8:30	船津消防団格納庫前
	9:00～9:30	鳥羽志摩農協鳥羽(旧加茂)支店
9月22日(水)	8:00～8:30	鳥羽磯部漁協小浜支所
	9:00～9:30	堅神公民館
9月24日(金)	8:00～8:30	鳥羽磯部漁協安楽島支所
	9:00～9:30	市民文化会館
9月30日(木)	8:00～9:00	休日夜間応急診療所 (保健福祉センターひだまり)

鳥羽に見る戦争展

教育委員会生涯学習課
☎1268

市では、鳥羽に残る資料をもとに
戦争の歴史について学んでもらおう
と、鳥羽に見る戦争展を開催します。

とき 9月30日(木)まで
午前9時～午後4時
ところ 鳥羽市郷土資料展示室(鳥
羽歴史ガイドセンター2F)

入場料 無料

9/1 information

篆刻体験教室受講生

教育委員会生涯学習課

☎1268

市では、次のとおり「篆刻体験教室」を開催します。

とき 9月29日(水)午後1時30分～

ところ 文化会館3階・中央公民館

内容 篆刻についてのお話・年賀状

や絵手紙、書画作品の印章作成の入門講座

対象 市内在住のかた

受講料 500円程度(材料代)

募集人員 15人(先着順)

申込方法

往復はがきに次の事項を記入の上、申し込んでください。

①篆刻体験教室申込②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤性別⑥電話番号

申込先 教育委員会生涯学習講座

担当係(〒517-0022鳥羽市大明東町1-6)

申込期限

9月13日(月)当日消印有効

※なお、申込人数が少ない場合は、講座を開講できない場合があります。

海のバリアフリー体験

NPO法人伊勢志摩バリアフリー

ツアーセンター

☎0550

社会福祉協議会

☎1188

市営安楽島海水浴場で、全体が透明なクリアカヤックや砂浜用の車椅子

子などを使い、障がい者のかたとの海のバリアフリー体験を実施します。

障がい者のかたには、クリアカヤックや砂浜用の車椅子に乗っていただき、海の中を観察したり、砂浜を散策していただけます。また、学生のかた(高校・大学生)には、障がい者のかたと共に体験を楽しんでいただき、バリアフリーや助け合いの視点を学んでいただけます。

主催 海島遊民くらぶ、NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター、ボランティア団体Tの会、社会福祉協議会

とき 9月11日(土)※悪天候時は12日(日)午前9時30分受付開始、午後1時30分終了予定

募集人員 障がい者のかた10人、学生(高校・大学生)10人 定員になり次第締め切ります。

参加費 600円(昼食代)

準備物 飲み物、帽子、ぬれてもよい靴(サンダル不可)、着替え、海水浴されるかたは水着、タオルなど

申込先 NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター、社会福祉協議会



vol. 2

老齢基礎年金の額を増やしたいかたには「付加年金」という制度があります

市民課保険年金係

☎1128

伊勢年金事務所

☎0596 3604

国民年金の第1号被保険者のかたが、20歳から60歳までの40年間(480月)の保険料を全額納めると、65歳から満額である79万2,100円(年間)の老齢基礎年金が支給されます。(平成22年度現在)

そうした将来受け取る年金の額を、もう少し引き上げたいとお考えのかたには、「付加年金」という制度が設けられています。

『付加年金』とは…

国民年金第1号被保険者のかたや、60歳以上65歳未満のかたで、国民年金へ任意加入しているかたが、定額の保険料に、プラス「付加保険料」400円を納めることにより、老齢基礎年金に上乗せして支給される年金のことです。

※保険料を免除されているかたや国民年金基金に加入されたかたは、付加保険料を納めることができません。

『付加年金』の受給額について…

【2000円×納めた月数】が、付加年金の受給額となります。

例えば、5年間(60月)付加保険料を納めた場合、毎年、12,000円(2000円×60月)が、老齢基礎年金に上乗せされ支給されます。5年間(60月)で納めた、付加保険料は、24,000円(4000円×60月)です。2年で元がとれる大変お得な制度です。

付加年金は、老齢年金と合わせて受給できる終身年金です。物価の変動による増額や減額はありませんが、しかし、老齢基礎年金と一緒に支給されるため、繰り上げ支給または繰り下げ支給をしたときには、本体の老齢基礎年金と同じ割合で減額または増額されます。

付加保険料は、申し込んだ月分から納めていただきます。また、付加保険料は納期限を過ぎると納めることができません。

付加保険料を納めるのはいつでもやめることができますが、納めた分は掛け捨てにはなりません。